

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月3日

事業所名 オリーブまなびの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	児発と放デイでスペースを分け、発達年齢に応じた環境設定をしている。子どもの配置を事前に計画し、環境に配慮している。	机の配置等、適宜快適に過ごせるように工夫していく
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	児童が多い時間帯は非常勤に入ってもらい対応している。	今後も配置基準を遵守していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	階段に手すりや転倒防止用パットを敷くなど対応している。	今後も構造上でできる範囲での配慮をしていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	60%	20%	朝礼時に支援内容を確認し、支援後は引継ぎシートに記載し振り返りを行っている。また翌日の朝礼時に職員間で共有している。	業務改善の為に、もっと会議を開催し、広く職員の意見が取り込めるようにする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	昨年度の保護者様からのご意見を活かし、職員紹介や支援内容をお便りでお知らせさせていただいた。	今後もアンケート調査の結果を職員全員で共有し業務の改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80%	0%	HPIにて公開している。誰でも閲覧できるようにしている	・来年以降も継続し行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%	現在第三者評価は受けていないが、保護者様のアンケート結果やご意見を受け業務改善に努めている	今後も保護者様のアンケート結果やご意見を受け業務改善に努めていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	定期的に研修を受けている。	・今後も継続して定期的に研修への参加をしていく。 ・職員の職位により相応しい研修の案内を管理者から行っていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者、子どものニーズやアセスメントに基づき計画を立てるようにする。	・研修等を受け、専門性を高められるようにしていく。 ・分析の偏りが出ないように、チームで課題に対しての客観的分析を行っていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	0%	JSI-Rや児童生徒理解に関するチェックリスト等のアセスメントシートを用いている。	JSI-Rや児童生徒理解に関するチェックリスト等現在使用しているシートが専門知識を持って活用できるように研修等でまなぶ機会を設けていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	児童のニーズや状況に合わせてプログラムを立案している。	定期的に会議を行い情報の共有をし、共通意識を持ちながらチームでの立案を行う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	職員間で引継ぎを行い、利用者に合わせて必要に応じてプログラムを計画している。	柱となる年間計画をまずは考え、個々の発達に必要な内容を年間計画の中で肉付けしていくように工夫する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	土曜日や長期休暇は中高生向けのレクサークルにて、外出などのイベントを実施している。 ・土曜・長期休暇は季節ごとのイベントなどを行い色々な経験を積めるように行なっている。 ・平日、休曜日に応じて、プログラム内容を考えている	年齢によって必要な活動を、区分しながら今後も実施していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個別学習と小集団のコミュニケーショントレーニングを実施している。 個々の発達に応じて個別や集団活動を適宜組み合わせている。	今後も利用児童の状況に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせる。 今後も年齢によって必要な活動を考えていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼時に、当日の流れや担当を確認している。非常勤職員には常勤職員がその日の役割や分担を必ず伝達している。 引継ぎシートを活用し、支援が継続できるように工夫している	今後も非常勤職員に連絡事項の伝え忘れがないように常勤職員が伝達を怠らないようにしていく。また引継ぎシートの書き方を工夫していく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	朝礼時に前日の振り返りを行い、職員同士で共有している。引継ぎシートを活用している。	引継ぎシートの書き方を、内容を精査し工夫していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	連絡帳と引継ぎシートを使用し、支援中の児童の様子を記録している。	引継ぎシートの書き方を、内容を精査し工夫していく。職員間でばらつきがないようにしていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	職員間で定期的に見直しを行っている。	今後も必要に応じて行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	全職員にガイドラインを配布し周知を図っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者が出席している。	今後も会議内容を参加していない職員にも共有していく。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	80%	0%	送迎を実施していないので、保護者や児童に学校の情報を教えていただき、情報共有している。	今後も保護者様等にご協力いただきながら、情報共有していく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	20%	0%	現在該当している児童はいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	20%	0%	通園施設に訪問し、担任の先生からお話を伺っている。	今後情報共有ができるように幼稚園、こども園等にも働きかけていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	20%	保護者の要望があった場合は、情報提供を行っている。	今後必要に応じて、情報提供や連携を図っていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	外部の専門機関の研修を受けている。	今後も外部の専門機関の研修を職員が受けられるように、案内を行ったり申し込みを行う
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	100%	0%	夏休み期間中に「夕涼み会」を開催し、地域の児童との交流の場を設けている	今後も地域交流イベントや、近隣の子育て支援センターを活用し、交流を図れるようにしていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	80%	0%	参加している。	法人代表が自立支援協議会のメンバーとして参加している。また放デイの連絡会に参画している。今後も会議等に参加し、連携を図っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	お迎え時に様子をお伝えしている。また連絡帳等で、課題等も含め伝えている。必要に応じて個別相談を行っている	各職員が専門性を持ち、お子さまの課題や保護者様に助言が適切に伝えられるように職員の質の向上を図る。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	60%	40%	保護者学習会の案内等を行っている。	今後ペアトレ等も考えていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	見学時や契約時に保護者に説明を行なっている。	今後も継続し行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	家庭訪問や事業所内相談を行っている。またLINEや電話等で相談を受け対応させていた	今後も迅速に対応していく。ご家庭に応じて必要性を感じた場合は、事業所からも案内をするようにしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	40%	60%	定期的な開催ではなかったが、保護者様と一緒に参加できる行事を開催した。	今後は感染の状況を勘案しながら保護者会を開催していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情やヒヤリハットがあった場合は、管理者・スタッフ間で共有し、体制を見直し保護者に報告させていただいている。	苦情に対して直接支援の職員と共通認識できるようなスキーム作りを行なっていく。 ・法人全体での共有も行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	インスタグラムを活用し、写真や動画をういて活動内容を発信している。	コンスタントにSNSで活動の様子を発信していく。今後も継続して行っていく。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	児童の名前や個人情報が書かれたものは全てシュレッダーし、外部に漏れないよう細心の注意を払っている。個人情報の取り扱いについては職員全体に周知している。	直注意喚起を行っていく。新人職員には入職してすぐに、個人情報の取り扱い、秘密の保持について研修を行っていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	イラストや図を用いて伝えるなど、利用者に合わせて対応している。	今後も個々の発達状況に応じて情報伝達の配慮を行う。また保護者さまにも伝わりやすいように丁寧に対応していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	80%	0%	夏休み期間中に「夕涼み会」を開催し、地域の児童との交流の場を設けている。	今後も地域交流が行えるようなイベントを企画し、SNS等で発信し地域の方にとって頂けるように努める
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	80%	20%	マニュアルを策定し、職員間で共有しているが、保護者向けの感染症等のマニュアルは今後配布予定。	保護者向けのマニュアルを作成し配布するBCPの作成を進めていく
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	市が開催している避難訓練に参加し、避難経路等職員間で共有している。	今後も引き続き行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に1度必ず人権擁護研修の機会があり、参加している。	今後も引き続き行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	60%	20%	現在該当児童がいない	該当児童はいないが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか等、組織的に考える機会を設ける
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	80%	20%	アレルギーの有無事前にヒヤリングし対応している。現在アレルギー対応の児童はいない	アレルギーの有無の確認を毎年継続し行っていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットがあった際は、記録し翌日の朝礼で共有している。	今後も継続して行っていく。法人全体の共有も目指していく。